

ジュニア科学クラブ 12



冬休みの天体観察

冬は明るい星が多く、星空がにぎやかです。今年はとくに木星や火星といった惑星も目立っています。ふだんはなかなか夜ふかしてできませんが、冬休みであれば、少し夜ふかしてもいいかな？という日もあると思います。

冬休みのうちに、ぜひ星の観察に、じっくり取り組んでみましょう。

木星と火星を見つけよう

いま「木星」と「火星」が、明るく光っています。どちらも地球と同じく太陽のまわりをまわる惑星のなかまです。とくに木星はマイナス2等級ほどで、とても明るく目立っています。また、火星もマイナス1等級ほどで、赤く光っています。惑星は夜空をうろろうするため、毎年同じところで光っているわけではありません。今年ならではの惑星の見え方を観察してみましょう。

冬の明るい一等星を見つけよう

冬の星座には、明るい一等星が7つも輝いています。そのうち3つをつないで「冬の大三角」、6つをつないで「冬のダイヤモンド」と呼んでいます。

一等星とひとくりに言っていますが、同じ一等星でも明るさや色はそれぞれちがっています。ひときわ明るく輝く星や赤っぽい色をした星など、1つ1つの星をじっくり観察してみましょう。

月を観察しよう

今年の冬休みは、あまり夜ふかしせずに月を観察することができます。晴れていたら、ぜひ毎日のように観察してみてください。すると、月は毎日形が少しずつ変わっていくことが分かります。また、他の星と比べて、月の位置が毎日少しずつ変化することも分かるはずですよ。たとえば、12月29日には木星のそばに半月近い月がならびます。年明けの1月3日には

火星の近くに満月より少し欠けた月がやってきます。月が満ちていきながら惑星や星座の星たちをめぐっていく様子を、ぜひ観察してみましょう。

流れ星を見てみよう

年初めの1月3日の夜おそくから4日の明け方にかけて、流れ星がたくさん流れる流星群がやってきます。「しぶんぎ座流星群」といいます。一番の見ごろは4日の午前3時ごろから夜明け前までですが、その時間帯はかなり冷え込みますので、おすすめしません。がんばりたい人は、3日の夜10時くらいから星空をながめてみましょう。当日は満月近い月が明るいので、できれば月が視界に入らないよう別の方角を見あげるなど、工夫しましょう。

観察は安全な場所で、寒さ対策もしっかりと！

天体観察を行うときは、必ず安全な場所で行いましょう。公園などで観察するときは、大人の人と一緒に観察しましょう。道路のわきや駐車場など、車が来る可能性のある場所での観察はぜったいにやめましょう。

また、冬の夜はとても寒いです。とくに、よく晴れた日の夜はおどろくほど冷え込むことがあります。風邪をひかないように十分厚着をして星空を観察しましょう。

にしの あいこ(科学館学芸員)

■12月のクラブ■

12月18日(日) 10:05 ~ 10:45

◆集 合：プラネタリウムホール(地下1階)

9:30~9:55の間に来てください

◆もちもの：会員手帳・会員バッジ

◆内 容：10:05~10:10 クラブについて連絡

10:10~10:45 プラネタリウム「冬休みの天体観察」見学

- ・途中からは入れません。ちこくしないように来てください。
 - ・プラネタリウムは、一般の方と一緒に見学していただけます。ご家族の方も、観覧券をご購入のうえご覧いただけます(※満席の場合はご覧いただけません)。
 - ・12月のクラブでは、「てんじ場たんけん」は行いません。
- ※変更等がある場合があります。

クラブ当日についての詳細は、科学館公式ホームページのお知らせ欄(<https://www.sci-museum.jp/>)または右の2次元コードよりご確認ください。また、科学館の最新情報も合わせて科学館公式ホームページにてご確認ください。

